

---

# 迷路 ~Maze~

蒼野祐樹

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

迷路／Maze／

### 【Zコード】

Z5080A

### 【作者名】

蒼野祐樹

### 【あらすじ】

悩みを抱える女性が【偶然】見つけた店。其処で出会った男は名も知らぬ男だった

ぐるぐる

ずっと同じ場所をまわつてくる

ずっと、ずっと、ずっと

進む道を見失つてしまつた者の末路

此處で同じ道を同じ距離だけ同じ速さでまわつていく

今日も同じとの繰り返し

早起きして髪を整え化粧をして会社に行つて残業で遅くまで仕事して、

同僚は早くに帰つて合コン、別に男が欲しいからつて行つてる訳ではなく単なるお遊び。

自分はどれ位の男を捉えることが出来るのかという女の意地。

そんな事よりも仕事をしてほしいものだ。

やつとの事で仕事を終え帰宅中、道端には酔っ払つたオヤジと部下や上司の愚痴をマシンガントークで話していくオヤジ。

「うこうオヤジを見ていると自分も酔つて今思つていいことを洗い済い喋つてしまいたい。

私はこのまま「仕事をするだけの女」で終わってしまうのだろうか。

そんなのは嫌だ、一体私はどうすればいいのだろう?

何時もどおりに朝は満員電車で押されながら帰りは人の少ない電車で帰つていいく。

こんな退屈なものが私の人生??

そして、私は辿り着いた、この男の元へ…… - - - - -

その男は黒髪で瞳が翡翠のように綺麗な男だった。

腰まである長い髪を後で一つに結い、椅子に座つて私を見上げてい  
た。

## 【また迷いし者か…？】

「迷つた？？」

【此處に辿り着いた者は全て迷いし者】

「私は…迷つてゐるの？？」

【わからへ、やへ心当たつは？？】

「迷こせ……………」

全てに迷っています、つまり優柔不断といつのもです。

私は全てに迷っています、一番の悩みは此れからの進むべき道です。

その答えに辿り着くと彷徨ついたら此方に辿り着いたのです。

教えて下さい 私は悩みをなくしたい 自分の事なのに分からぬのが嫌なんです

【悩みをなくしたければ己が無くなればいいのだ】

「己を…？」

【つまり、消えてしまえばいいのだ】

「死ねばいいと言つたのですかツツ？…」

【誰が『死ね』など言つたのだ、勝手な解釈をするな

「だったら…消すつて…？」

【つまり今の己を消し去ればいいのだ『心』を

「心ひいて…心ひいて消せり…」

【我には出来ぬ、この空間に歸るべし】

「…本当に出来るの…？」

【此處は我が作り出した空間、此處では我がルールだ、不可能などない】

今の自分を消すといつものがどういったものなのか理解できない。だが、この男のいうとおりに今の自分を消せるのだとしたら、かつて今の自分とは正反対の人間だらう。仕事もせず、遊びまくって、今見ないな4LDKには住んでいない。

【どうするのだ？？消すのか？消さないのか？？】

「消したら、今の私はどうなっちゃうんですか？？」

【この世から消え去り、世界中の人の記憶から消え新しい自分がインプットされる】

「誰一人…覚えてないんですか？？」

【ああ、どうだ？？消すのか？？】

「……一晩考えさせてくれませんか？？」

【良かれ、但し消さないといつ決心が付いたのなら、もつ此處に

は来れまい】

「えッ?...」

【だが再び恼み出したのなら再度出会えるだら、ついでに恼める子羊を見つけたら此処の宣伝を頼むぞ】

「…わかりました」

そして家に帰つて考える、でも決まつていた、私は今の自分から逃げていただけ。

だったら消してもらう必要は無い、コレからは今の自分を理解していきながら、その自分に合わせて生きていけばいい。

【迷える子羊を見つけた宣伝を頼むぞ】

きっと、あの男は私が消さないところのことを知つていて宣伝を任せたのだら。

「あの人は一体なんだつたのかしら...」

ぐるぐる

ずっと同じ場所をまわつている

ずっと、ずっと、ずっと

進む道を見失つてしまつた者の末路

此処で同じ道を同じ距離だけ同じ速さでまわつていく

「先輩…私、此処で仕事をしていく自信がありません」

「どうして?」

「今の自分では…ダメな様な気がして…」

涙を浮かび上げながら必死に私に頼つてくれる、まるで何時ぞやの自分様だ。

「だつたら良い事教えてあげる」

「え…」

「今の自分に不満があるのなら、自分を消す勇氣があるのなら…今から説明した道を進んでみて…其処に男が居るからソイツに頼つてみて」

【迷える子羊を見つけた宣伝を頼むぞ】

宣伝してあげたわよ…

アナタに悩みはありますか??  
そんな自分に不満や苛立ちを感じたりしませんか??

そんなアナタに良い店を紹介しましょう。

どうですか？自分を変えてみませんか？？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5080a/>

---

迷路～Maze～

2010年10月11日00時12分発行